

# 平成30年度

## 第2回中央区環境行動計画推進委員会

日 時 平成31年1月29日(火) 14:00～15:50

場 所 中央区立環境情報センター研修室

### 【議事概要】

資料1 「中央区環境行動計画2018」の評価基準

資料2 「中央区環境行動計画」(2008年4月～2018年3月)の最終評価

※資料1 「中央区環境行動計画2018」の評価基準 について

●委員

区としては、パターン1(平均点による総合評価)を採用したいということか。

●区

重み付けは一つの比較例として示した。パターン1のほうがよりわかりやすいため、この方法で実施していきたいと考えている。

●委員

多少のわかりにくさはあるかもしれないが、アンケートによる重みを付けることで、区民の意見が反映されることになると思う。

●委員

単にわかりやすいというのは理由にならない。パターン1だけでは、区民の意見を反映させることはできない。

●委員

重みは必要な方法だと思うが、煩雑になってしまう気がする。

●委員

表1による採点の根拠はあるのか。

●区

現時点では定めていない。

●委員

根拠がないと、とても曖昧な採点になってしまう。

- 委員

一人ひとりの感覚が優先して、評価にズレが出てしまう。

- 委員

他区の委員として、評価資料を見たことがあるが、何が根拠なのかという意見がよく出てくる。

パターン1のように、内部で評価する場合は、どのくらい客観性・透明性を確保できるかが重要である。

区民の意見が評価に反映されるに越したことはなく、わかりやすいからパターン1にするというのはどうかと思う。

パターン1を基本として、毎年ではなくどの時期に重みを付けて行うかを検討したらどうか。

- 委員

明確な採点区分があれば、客観性が保たれ、基準として問題はない。

今のままだと、どうしても感覚的な採点になってしまう。

区分するのが難しければ、職員間（例えば係内）で評価し合って決めたらどうか。

ただし、シートを用いて担当、係長、課長それぞれが評価しても、結局は課長一人が評価したのと同じである。

いずれにせよ、客観的に評価できるような基準を考えてほしい。

- 区

再度検討する。

- 委員

5つの基本目標をひとまとめにして評価するのか。

- 委員

目標ごとに性質が違うので、それは難しい。

- 区

この基準は、5つの目標ごとに総合評価を行うものである。

- 委員

資料の例にあるような、重みを設定するためのアンケートは実施できるのか。

- 区

アンケートの規模にもよるが、予算要求のうえ、必要と認められれば、実施するこ

とができる。

●委員

区民目線で見ると、自分たちが負担を抱えるような項目（省エネや公共交通機関の利用など）を選ばない傾向にあると思う。

●委員

事業者の目線にもだいぶ違いがある。

環境に関心が高い、そうでないなどさまざまである。

●委員

事業者とは言っても、担当者一人が回答しているのが実状であり、あくまでも参考程度として捉えるべきだ。

また、各指標の項目をそのままアンケートに使うのはわかりにくい。内容をわかりやすく文章化するなど、いろいろ工夫が必要だと思う。

他に質問・意見はあるか。

特になければ、来年度以降の進め方については、次のようにまとめる。

- 1 重みは付けず、パターン1による評価を毎年行う。ただし、採点区分の根拠は明確にする。
- 2 重みを付けた評価は、数年に1回の割合で行う。（1,2年毎か中間改定時など）
- 3 重みを設定するためのアンケート方法を検討していく。

●区

十分な検討を重ね、次回の委員会で修正案を提示する。

なお、実際に評価を行っていくなかで、不都合な点も出てくると思うので、皆さまとのご協議により、その都度改善していきたいと思う。

※資料2「中央区環境行動計画」（2008年4月～2018年3月）の最終評価 について

●委員

資料1の基準との関連性はあるのか。

●区

計画2018の冊子には、9年間の評価が載っているが、従来の評価方法により、残り1年分を加えた内容に更新したものであり、資料1との関連性はない。

●委員

資料1のような新たな基準を設けることにどのような意味を持つのか。

●区

前計画では、評価とは言っても、目標達成率の分析や取組状況の説明で終わってしまい、基本目標に対する総括的な評価までには至らなかった。

計画2018では、A B Cなどのランク付けを行うことで、計画の進捗状況が見えるようにしたいと思う。

●委員

表3のSDGs実施指針は、全ての項目が挙がっているわけではないので、「抜すい」と記したほうがよい。

表4の気候変動対策は、適応策だけが記載されているので、基本目標1（低炭素社会）にあるような緩和策も加えたほうがよい。

●委員

この資料は、あくまでも前計画の最終評価なので、SDGsと気候変動対策の用語解説を載せれば十分であり、表3と表4の関連付けまでは必要ないと思う。

特に、気候変動対策は、自治体に計画策定の努力義務があるので、今後の対応を議論していく必要がある。

●委員

企業がSDGsに関するレポートを作成する時も、単に取組をSDGsに関連付けた、見せかけ的な内容になることが多く、非常に表現の難しさを感じる。

行政の場合も同様なことが言えると思うが、第一の目標である「貧困」に対してどう取り組んでいくか、きちんと表現していく必要がある。

●委員

広く解釈すれば、「貧困」も「環境」に含まれるが、計画2018における「環境」の意味とは全く違うので、含めるべきではない。

●委員

この最終評価は公表されるのか

●区

ホームページでの公表を考えている。

●委員

表2-7の環境学習は、目標（実施回数）を達成していないので、その理由を書いてほ

しい。

表2-16の児童遊園は、10年前の計画策定時と比較すると、園数が減っているのに、その理由がわかれば書いてほしい。

●委員

表2-5の事業所向け中央エコアクトも、目標（認証件数）を達成していないので、その理由を書いてほしい。

●委員

資料2では、冊子に載っていた重要なキーワード（P21の太陽光パネル、P23のビオトープ）が抜けてしまっているので、元の文章に戻したほうがよいと思う。

●委員

表2-15のクリーンデー参加団体数や表2-17の街路樹の本数は、前年度よりも実績が減っているのに、その理由を加えてほしい。

●区

それぞれ減少した理由を確認のうえ、補足する。

なお、表2-6の資源回収品目は、達成率が100%を超えないよう、品目数の調整（18品目から14品目）を行った。

●委員

100%を超えても、そこまで考慮する必要はないと思う。

●区

18品目に統一する。

●委員

前計画は、数値目標が必ずしも多くはないため、全体の進捗状況が見えにくい点もあるが、これまで通りの評価方法により、この10年間のまとめをしていただければと思う。

他に質問・意見はあるか。

特になければ、前計画の最終評価については、次のようにまとめる。

- 1 目標を達成できなかった理由を補足する。
- 2 前年度（またはそれ以前）よりも実績が減った理由を補足する。
- 3 文章に重要なキーワードを入れる。

以上